

# Commodity Market Report

2010/11/10(水)

大起産業株式会社 調査研究室 小菅 努

TEL:052-201-6311(代表)  
kosuge\_tsutomu@hotmail.com

## 需給報告で穀物相場の強気見通しを再確認

米農務省 (USDA) が11月需給報告を発表した。ポイントの解説と今後の相場展開を展望する。

### 【トウモロコシ】

2010/11年度の米トウモロコシに関しては、概ね市場コンセンサス通りの結果と言える。イールドが前月の155.8Bu/エーカーから154.3Buまで引き下げられたことに伴い、生産高が1億2,400万Buの下方修正になっている(125億4,000万Bu)。一部では上方修正の可能性も指摘されていたが、USDAの厳しい評価が再確認できる。

一方、需要は飼料・その他が1億Buの下方修正(53億Bu)、輸出が5,000万Buの下方修正(19億5,000万Bu)となっており、全般的には価格高騰によるブレーキ効果が確認できる。ただ、生産が好調なエタノールが1億Bu上方修正(48億Bu)されているため、総需要は5,000万Buの下方修正(134億3,000万)に留まっている。

期末在庫は7,500万Buの下方修正(8億2,700万Bu)であり、在庫率は前月の6.7%から6.2%まで低下。市場予測とほぼ一致しているが、期末在庫が10億Buを大幅に下回り、在庫率が6%前半まで低下していることを考慮すると、今後も6ドル台確立を試す展開を想定している。需給逼迫感の解消には、更に価格を引き上げて需要を後退させるか、11/12年度の需給緩和見通しを確立する必要があるだろう。

需要環境の悪化で上昇ペースは抑制されるとみているが、上昇トレンドは維持される見通し。

### 【大豆】

2010/11年度の大豆に関しては、予想以上にタイトな需給見通しが提示されている。イールドは前月の44.4Buから43.9Buまで大幅に引き下げられており、概ね横這い状態を見込んでいたマーケットに対しては、ポジティブ・サプライズになる。生産高は3,300万Bu下方修正(33億7,500万Bu)であり、市場予測を約5,000万Bu下回っている。

＜米国産トウモロコシ需給表＞

	09/10年度	10/11年度	
		10月	11月
期初在庫	1,673	1,708	1,708
生産	13,110	12,664	12,540
<b>総供給</b>	<b>14,792</b>	<b>14,382</b>	<b>14,257</b>
飼料・その他	5,159	5,400	5,300
食品・種子・工業	5,938	6,080	6,180
(エタノール)	4,568	4,700	4,800
輸出	1,987	2,000	1,950
<b>総需要</b>	<b>13,084</b>	<b>13,480</b>	<b>13,430</b>
期末在庫	1,708	902	827
在庫率(%)	4.5	6.2	6.7

(単位)100万Bu、(出所)USDA

＜米国産大豆需給表＞

	09/10年度	10/11年度	
		10月	11月
期初在庫	138	151	151
生産	3,359	3,408	3,375
<b>総供給</b>	<b>3,512</b>	<b>3,569</b>	<b>3,536</b>
圧砕	1,752	1,665	1,665
輸出	1,501	1,520	1,570
<b>総需要</b>	<b>3,361</b>	<b>3,305</b>	<b>3,351</b>
期末在庫	151	265	185
在庫率(%)	4.5	8.0	5.5

(単位)100万Bu、(出所)USDA

# Commodity Market Report

2010/11/10(水)

大起産業株式会社 調査研究室 小菅 努

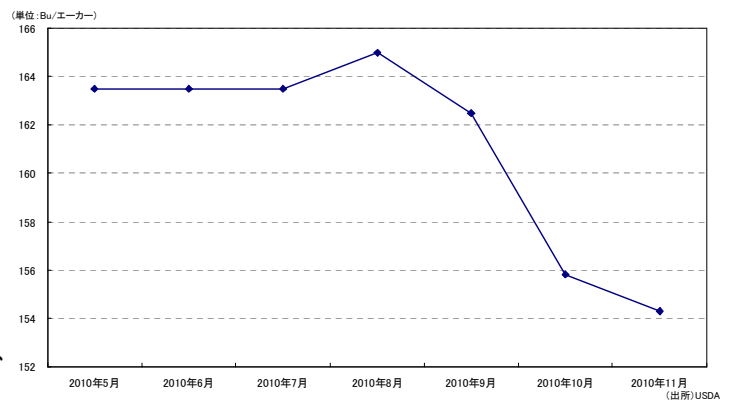
TEL:052-201-6311(代表)  
kosuge\_tsutomu@hotmail.com

一方、需要サイドは圧砕が16億6,500万Buで据え置かれたものの、輸出が5,000万Bu引き上げられている（15億7,000万Bu）。国内圧砕需要の買い付け状況からは、圧砕需要の上方修正も想定していたが、大豆油・ミールともに需要見通しは据え置きであり、大豆圧砕需要にも修正はない。一方、輸出は下方修正となったトウモロコシとは対症的な動きであり、5ヶ月連続の上方修正。ただ、輸出に関しては週間輸出統計で予測されていた動きであり、特にサプライズはない。

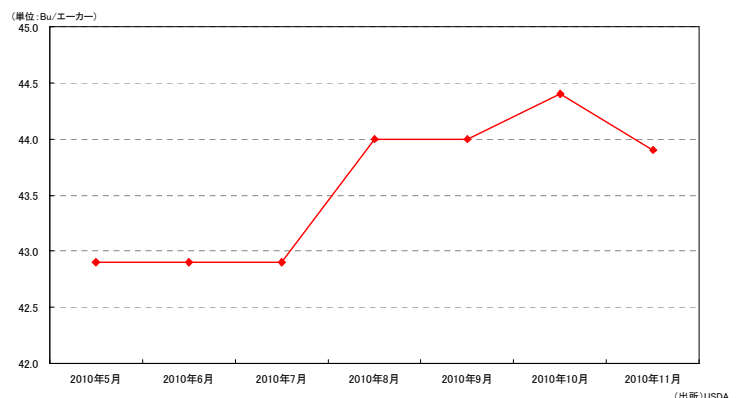
期末在庫は8,000万Bu下方修正（1億8,500万Bu）であり、2億Buの大台を割り込んでいる。市場予測2億4,000万Buとの比較でも、ポジティブサプライズといえる数値だろう。これを受けてシカゴ大豆相場は13ドルの大台に乗せたが、これでピークアウトが近づく環境にはない。レーショニングの開始される価格水準を試す形で、14ドル台乗せを意識した展開を想定している。

なお、国際需給では南米の生産高見通しが大幅に上方修正されていることに注意したい。まだ南米産の供給開始までは時間があるものの、南米の豊作が確定すれば、「南米産の供給時期を待つ」選択肢が浮上する余地もある。

＜トウモロコシのイールド推移＞



＜大豆のイールド推移＞



本レポートは投資判断の参考となる情報提供を目的としたものです。弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。注意事項の詳細については、最終項をご参照下さい。

## 注意事項

※本レポートは投資判断の参考となる情報提供を目的としたものです。弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。※本レポートは、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。※本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、筆者及び弊社は責任を負いません。※弊社の都合で、本レポートの全部または一部を予告なしに変更することがありますので、予めご了承ください。

※商品先物取引は証拠金取引であり、相場の変動によって利益も損失も生ずる恐れのある取引です。取引本証拠金の額に比べて何十倍もの金額の取引を行うため、その利益や損失も預託している取引証拠金の額に比べると高いものとなることがあります。※商品先物取引は委託に際して取引証拠金等の預託が必要になります。最初に預託する取引本証拠金の額は商品によって異なりますが、最高額は、最低取引単位(1枚)当り最高165,000円です。但し、実際の取引金額は取引本証拠金の額の14倍から29倍という著しく大きな額になります。また取引証拠金等は、その後の相場の変動によって追加の預託が必要になることがありますので注意が必要です。但しその額は、商品や相場の変動によって異なり、一様ではありません。※商品先物取引の委託には委託手数料がかかります。その額は商品によって異なりますが、最高額は、最低取引単位(1枚)当り17,010円です。※弊社の企業情報につきましては、弊社の本・支店及び日本商品先物取引協会の本・支部・ホームページで閲覧できます。※本取引についてのご相談窓口 大起産業(株)取引相談室[名古屋市]:0120-706030、日本商品先物取引協会相談センター[東京都]:03-3664-6243

【注】証拠金、手数料等の額は2010年1月12日現在のデータです。

## 当レポートについてのお問い合わせ先

【会社名】 大起産業株式会社 (Daiki Sangyo Co., Ltd.)  
 【所在地】 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦2-2-13 (名古屋センタービル2階)  
 【URL】 <http://www.daikiweb.co.jp>  
 【電話】 TEL:052-201-6311(代表) FAX:052-220-1593

### 【執筆担当】

大起産業株式会社 調査研究室 エキスパートスタッフ  
 小菅 努 (こすげ・つとむ)  
 E-Mail: [kosuge\\_tsutomu@hotmail.com](mailto:kosuge_tsutomu@hotmail.com)  
 Blog: <http://ameblo.jp/kosuge-tsutomu>  
 Twitter: [http://twitter.com/kosuge\\_tsutomu](http://twitter.com/kosuge_tsutomu)

### 【個人のお客様・投資家の皆様へ】

当レポートに関するお問い合わせは、全てE-Mail ([kosuge\\_tsutomu@hotmail.com](mailto:kosuge_tsutomu@hotmail.com)) にて承っております。電話によるお問い合わせは、ご遠慮下さいますようお願い申し上げます。

本レポートは投資判断の参考となる情報提供を目的としたものです。弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。注意事項の詳細については、最終項をご参照下さい。